

## 地域住民へのメッセージ

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：**独立行政法人国立病院機構横浜医療センター**

※各項目200字以内で記載してください。

1	神奈川県がん診療連携指定病院としてのメッセージ (例) 当院は、すべてのがん患者さんの治療方針の決定を外科、腫瘍内科、放射線治療等複数の領域の専門家による「カンサーボード」によって十分に検討し、最善の治療を行うよう努めております。
	当院では、がん患者さんの治療方針決定に際し、該当する外科系診療科および内科系診療科、放射線医等、複数の領域の専門家で構成する「カンサーボード」(患者さん個人ごとの治療方針を検討する委員会)で十分検討し、最善の治療を行うよう努めております。
2	相談支援センターからのメッセージ (例) 医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お話をお伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介します。
	がん相談支援センターは、がんに関する不安や悩み、誰にも打ち明けられない気持ち、病気に対する疑問など、さまざまなご相談をお受けしています。どこに相談したらよいかわからないとき、療養上の支援が必要なときなど、気軽にご相談ください。なお、相談は、専属の看護師・相談員が医師・他専門職などと連絡を取りながらご相談をお受けしていきます。相談内容は秘密を厳守いたします。
3	緩和ケアチームからのメッセージ (例) 緩和ケアチームには、長年緩和医療に携わっている経験を積んだ医師、看護師、薬剤師が含まれ、身体的な痛みを始め、患者さんの精神的苦痛を和らげるため、担当医と連携し、最善の医療を提供します。
	がんの療養中は、痛みや吐き気、食欲低下、息苦しさ、だるさなどの体の不調、気分の落ち込みや不安などの心の問題が患者さんの日常生活を妨げることがあります。これらの問題は療養の経過中、程度の差はあっても多くの患者さんが経験します。私たち横浜医療センターの緩和ケアチームは、これらの問題の改善や解決を目指し、患者さんとご家族が自分らしくすごせるようサポートします。
4	緩和ケア病棟からのメッセージ(※緩和ケア病棟が設置されている場合のみ記載してください。) (例) 緩和ケア病棟は、別棟となっており、全室から中庭に出ることが可能で、豊かな自然を感じて、充実した時間を過ごすことができます。